

# 鳥類調査法

## ～その2～

前号では、鳥類調査法や調査者に必要な技術について、また、経験やセンスが調査結果に差をつけることがある全体的な話をした。

今回は引き続き、具体的な調査方法について紹介する。

鳥類は、その他の生物の例に漏れず、環境の違いによって生息する種が違います。そのため、調査対象範囲における鳥類の生息状況を把握することは、その地域の自然環境を把握するうえで、非常に重要です。

自然環境調査で、鳥類を確認する場合は、姿と鳴き声から、生息種を識別します。鳥類は、雌雄の違いや季節、成鳥、幼鳥の違いによって体色の異なる種がある一方、姿の非常に似ている別種も少なくありません。しかし、その鳴き声、特に「さえずり」は、種ごとに異なった特徴があるので、生息種の識別では、鳴き声での確認が非常に重要と

なるのです。



鳥類の調査法としては任意観察法、ルートセンサス法、定点観察法、古巣確認調査、夜間鳥類調査、呼び寄せ法などがあげられます。

当社では、調査目的にあわせて、調査方法を選び、必要に応じて他の手法と組み合わせ、よりよいデータを収集する事に努めています。ここでは、最も多く使われる任意観察法、ルートセンサス法、定点観察法の特徴を、それぞれ紹介します。

### 任意観察法

任意観察法では、調査対象範囲にみられる様々な環境を網羅するように踏査し、確認された鳥類を記録する手法で、主に調査対象範囲の鳥類相を把握する事を目的として行われます。この手法では、調査対象範囲内の異なった環境を効率よく踏査し、植生の構造条件や採餌場所の条件などから、鳥類が多く生息する環境をいち早く判断する事が重要となります。このことが、調査対象範囲の鳥類相をより正確に把握することにつながるのです。このように、本手法は、調査員の専門的な知識や経験が要求されるのです。

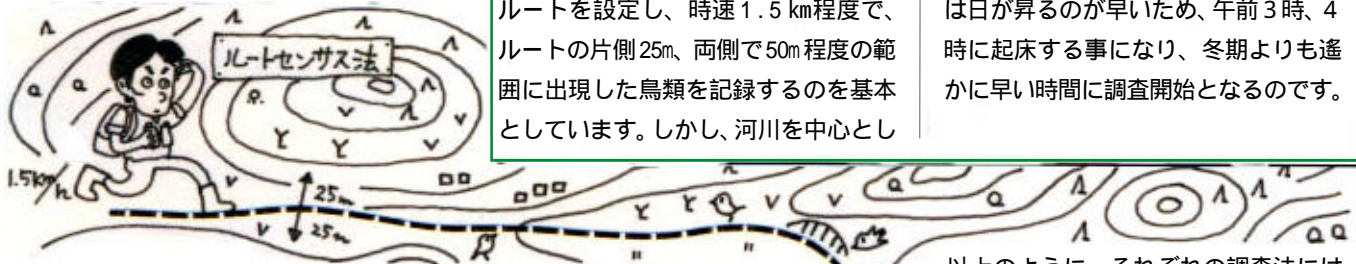
### ルートセンサス法

ルートセンサス法は、調査対象範囲の環境を網羅するようなルートを設定し、そのルート上を一定の速度で進み、ルート両側の一定範囲内に出現した鳥類の種名、及び個体数を記録する手法です。調査対象範囲の鳥類群集を定量的に把握する事が目的で、ある程度客観的な調査結果が得られます。しかし、調査対象範囲の鳥類相やある特定の種における生息状況などを把握するためには、任意観察法や、定点観察法などとの併用が必要となるのです。

ルートセンサス法を用いて調査を行う場合、当社では、2 km程度の長さのルートを設定し、時速 1.5 km程度で、ルートの片側 25m、両側で 50m程度の範囲に出現した鳥類を記録するのが基本としています。しかし、河川を中心とし

た水辺環境や湖沼などが調査対象範囲となる場合、踏査可能なルートを中心に調査を行うと、調査対象範囲の鳥相を正確に捉えられない場合などができます。このような場合には、調査目的や環境に合わせて適宜判断し、ルートの片側 50m についてのみ調査を行うなどの工夫をしています。

また、本手法は、鳥類が盛んに鳴き交わす早朝の時間帯に行う事が多いです。このため、調査対象範囲が広く、センサスルートが数本設定される場合などには、連日、早朝からの調査が続き、寝不足気味になる事があります。特に、夏期は日が昇るのが早いため、午前 3時、4時に起床する事になり、冬期よりも遙かに早い時間に調査開始となるのです。



### 定点観察法

定点観察法は、調査対象範囲内または、その周辺に定点を設定し、確認された鳥類の種や個体数を記録する手法で、調査対象範囲における鳥類相や利用状況などを把握する事を目的としています。この手法では、特定の種などを調査対象種として、調査対象範囲の利用状況を把握する事が可能であり、猛禽類の生息状況調査などで多用されます。見晴らしのよい定点を定めて移動せずに観察を続けるため、夏期は、一日中太陽の光を受けて、意識が朦朧としてくることもあります。その反対に、冬期は、風を遮るものがないところが多いので、寒さとの戦いとなるので

以上のように、それぞれの調査法には、それぞれの特徴があり、知識や経験が要求されたり、寝不足になったり、暑さや寒さとの戦いであつたりと、苦労がたえません。しかし、これらの調査中に、凶鑑の中であこがれていた美しい鳥や珍しい鳥、猛禽類のハンティング等のめったに見られない行動に出会えたとき、それまでの苦労は記憶の片隅に押しやられてしまうのです。

( 本社自然環境調査室・伊藤透 )



# 植物調査物語

目指すは 牧野富太郎!? ……の巻



牧野富太郎  
(1862~1957) 高知県生まれ  
偉人  
日本の植物の近代的分類学の基礎  
を築いた学者。様々な苦難の中、独学  
で植物学に取り組み植物分類学の  
世界的権威となる。新種1,000種、  
新変種1,500種以上の命名。標本は  
60万点(なんと!!)に及ぶ

植物調査は植物の種類を調べる  
植物相調査と……

今回は  
ボクの番や

植物チームI氏  
(大阪出身)

植物群落の構造や分布  
状況を調べる植生調査を  
行いながら歩きます

知ロ  
知ロ

春から夏にかけては草木  
の萌える季節と緑が

美

読者の方は

ハア〜  
ええなる〜  
ええ気分やなあ

といったロクニツ  
気分と思いませんか?

けび  
ちゅいまんわん

春植物(カタクリ、ニリンソウなど)  
は期間限定なのでウカウカして  
いられないのです

花の命は  
短いやで、  
早よせんかい!

これでも  
急いでん  
ですよ

昔 植物の種類は膨大で新人の頃は  
こんなに覚えられない!

と絶望  
的な  
気分に  
陥った  
ものです

調査に出れば知らない種を後で確認  
するために袋はサンプル袋になります

あれは  
ナン?

これも  
アナン?

おまけに林の中で迷って皆んなに  
バカテと呼ばれ

えろお  
スマセーン

おそい!

巨体H氏

先輩たちが宿屋でくつろいでいる中、  
ひとり サンプルの整理(標本作り)  
です

大変だわ

今 しかし、経験を積んでゆくと以前  
のように サンプルアシななくても、  
現場でもわかるようになります……

あ、  
あれね

あ、  
あ、  
あ、

ところで

植物調査の対象  
が動かないから調査  
し易くていいなあ

と言わ  
れること  
ある

昆虫  
U氏

そのとうり、フタリ雨が降るがヤリが降るが天気  
に関係なく調査はとりあえず可能ということ

トキ

私の同僚は虫が嫌いとかと……

夏はハ  
ンパー  
蚊とり線香を  
リインとつける

アアコギ、たまらんわ

異様な人物が野山を  
徘徊することになります

N氏

ヤマノイモの堀り穴にはまったり、  
アズマゲサの切り株を

ギョッ

痛

ゴックと  
挿げん

そんなこんなで知識と経験  
を積み、努力した結果、今は  
一流になりましたけれどね……

バカモン!  
おまえなんぞ  
まだまだじゃ

牧野のせい  
ごめんさい

(原案 本社自然環境調査室・井原寛人/イラスト 飯塚要)